

あだたら

ふくしまグローバルセミナー2009
主催：福島県国際理解教育ネットワーク (FJENET)
構成団体：福島県・福島県教育委員会・財団法人福島県国際交流協会 (JICA二本松)



特集

みんなで世界を考え、
ふくしまでアクション

「ふくしまグローバルセミナー2009」開会式
(平成21年12月12日)

ふくしまグローバルセミナー2009



今年で通算13回目を迎えるこのセミナーは、国際交流・国際協力・多文化共生・国際理解教育・開発教育について理解を深める参加型セミナーです。外国出身者などによる母国紹介や国際協力現場レポートなど、22の幅広い講座が行われました。今年は参加者による自主セッションを取り入れ、参加者の交流を深めることができました。

開催日：平成21年12月12日(土)～13日(日)
 主催：福島県国際理解教育ネットワーク
 (構成団体：福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松)

■今後のネットワークづくりに

あだたらの寒さの中で開催されたグローバルセミナー2009には、高校生からシニア世代の方々まで149名が参加され、22の講座と13の自主セッション、参加者交流会や最後の参加者全員での合唱と、大いに盛り上がりました。県外からの参加者もありましたし、名残惜しそうにJICA二本松を去った方もおられました。年齢にこれだけの幅がある参加者が多数集まり、合宿形式で行うセミナーは、国内でも珍しいのではないのでしょうか。今後、参加者間のネットワークから、新たな国際交流・協力の動きが出てくれば、これに勝る喜びはありません。

最後に、裏方として活躍していただきました福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会の関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

JICA二本松所長 齊藤祐巳



12月12日(土)		プログラム内容			
開会式 12:30～12:45	オープニングセッション 12:45～13:15				
	講座A	講座B	講座C	講座D	
セッション1 13:30～15:00	違いは豊かさ～カナダ人から見た異文化コミュニケーション～ マクマイケル・ビリィ 財福島県国際交流協会	キャリア教育～コミュニケーションマジック編～ 半田 真仁 採用と教育/JCDA認定キャリアカウンセラー	世界がもし100人の村だったら～福島バージョン～ 布田 節子 日下部喜美子 グローバル教育研究会ふくしま	笑顔のリレー～チョコレートの向こうに～ 紺野富美子 福島市立清明小学校 坂中 澄子 郡山市立小山田小学校	
セッション2 15:15～16:45	アフリカをサファリしよう！～野生動物との共生～ 西崎 伸子 福島大学行政政策学類/NPO法人アフリック・アフリカ	地球幸福度指数世界一のバヌアツの「幸せ」の現在と未来 菅野 裕子 浦山 明浩 船と翼の会ふくしま	知らないニュージーランドを楽しもう！ ジェシカ・ハーヴィ 福島県国際課	近くて遠い国、隣国としての中国 平成21年度 JICA教師海外研修中国派遣参加者	
参加者による自主セッション 17:00～18:00 / セミナーに参加の皆さんの中で、国際に関わる自分の活動について発表したいという方のためのセッションです。		参加者交流会 18:45～20:00			

12月13日(日)		プログラム内容			
セッション3 8:30～9:30	リンゴフェスティバル～福島とペンシルベニアとの意外な共通点～ ニサ・シャノン 西会津町教育委員会	「リラックス」が世界をつなぐ～拠点作りから地域ネットワークの構築～ 根本 健一 井澤 由香 福島県障害児・者の動作学習研究会	外国人と日本語でコミュニケーション！～共通語としての日本語～ 菊地 紀子 二本松国際交流ボランティアざくざくネット 佐々木千賀子 日本語教室ひなざく	地球がステージ～メキシコでの協力隊活動から見てきたこと～ 高橋 司 ふくしま青年海外協力隊の会	
セッション4 9:45～10:15	カラフルな多民族国家～オーストラリア～ オーシン・コリンズ いわき市市民協働課	中国って どんな国？ 王 睿来 福島県国際課	人材開国「多民族共生国家」～外国人移民受け入れの是非を考える～ 五十嵐直樹 (財)福島県国際交流協会	地球がステージ～ウズベキスタンでの協力隊活動から見てきたこと～ 佐藤 恵 ふくしま青年海外協力隊の会	
クロージングセッション 11:00～12:15		閉会式 12:15～12:30			

初めてのグローバルセミナー

ふくしまグローバルセミナー2009に、講師として初めて参加した県内在住外国人2名をご紹介します。2人とも県内市町村の国際交流員として活躍しています。初めて参加した感想、また講座をやってみてどうだったかお聞きしました。

Profile ニサ・シャノン

1985年生まれ
アメリカ ペンシルベニア州出身

2002年度と2004年度の2回にわたり日本に留学して勉強した経験を持つ。現在西会津町の国際交流員として、小中学校を訪問し国際理解や英語の指導をしています。



西会津の人たちに知らせたい

グローバルセミナーは、福島に来て初めて国際交流を考える良い機会になりました。今住んでいる西会津町の人たちに知らせたいと強く思います。

自分の講義はとても緊張したが、楽しかったです。参加者の皆さんにたくさん助けてもらいました。手作りのアップルソースも好評で喜んでくれたのがうれしいです。時間がぎりぎりになってしまったので、今度はもっと練習したいと思います。自分にとっては大きなチャンスで、ずっと楽しみにしていました。

故郷のペンシルベニアと今住んでいる西会津の素晴らしさをもっと多くの人に知ってもらいたいと思います。

Profile オーシン・コリンズ

1986年生まれ
オーストラリア タスマニア島出身

現在いわき市の国際交流員として、市民協働部市民協働課で都市交流係の仕事をしています。



たくさんの出会い

グローバルセミナーは、想像以上にいろいろな年代の人たちがたくさんいてとても驚きましたが、とても楽しいです。JICAの場所も素晴らしくてもっと活用して欲しいと思いました。

自分の講義については、日本語はだいたい通じて安心しました。とてもおもしろかったです。ゲームは喜んでくれたのでうれしかったです。仕事で忙しく、あまり準備の時間がなかったので、今度はもっときれいに完成したのを作りたいと思います。自分にとってはチャレンジでしたが、たくさんの出会いがあり、参加してとてもよかったです。

自分の体験・経験を語ろう

～参加者による自主セッション～

こちらはセミナー参加者の中で、国際に関わる自分の活動について発表したい方のためのセッションです。内容は、活動報告、教材実践、ワークショップ体験の3種類があり、参加した団体・個人は全部で13でした。その中で、会津地区の高校生による平和活動団体『Peace Bud Aizu』（ピース バド アイズ）を紹介します。



自主セッションで活動紹介をする屋さん

▲講座A「多民族国家」に登場したカンガルーのケビン

Profile 星 善之

学年：高校2年
学校：会津学鳳高校
趣味：音楽鑑賞
特技：水泳、バレーボール



平和のつぼみを会津から

参加してみて、自分の思いを相手に伝える難しさ、伝わった時の喜びを味わうことができました。セッションの最後に「平和とは何か」と尋ね、「その言葉が心に残った、良かった」とセミナーの最後に言って下さった方がいらっしゃいました。

僕たちは「平和のつぼみを会津から」という理念の下これまで活動してきましたが、僕らの平和への思いをこのグローバルセミナーを通して伝えることができたのではないかと思います。

私たちはこれからも思いを多くの方に伝え、また、世界的な平和活動に参加していきたいと思っています。

講座E	講座F
映像メディアは「ホントのこと」を「ホント」に伝えているのか？	希望を植えよう 全国の市民がエチオピアに蘇らせた水と緑
荒 康義 福島県立いわき総合高等学校	新妻 香織 NPO法人フー太郎の森基金
JICA 帰国専門家が語る途上国・日本の技術力	ルワンダの子どもたちへの教育支援 10年の歩み
柳田 敏雄 松谷 要寿 JICA 帰国専門家福島県連協会	カンベンガ・マリールイズ NPO法人ルワンダの教育を考える会

もう一枚の世界地図 ～ハンガーマップから見える世界～	「気持ち」を「声」にして伝える！響かせる！ “半” 構成的エンカウンター・ワークショップ
菊地恵美子 長井 庸子 国際交流の会・かみあ	後藤 真 ジン・リキ ファシリテーション/臨床心理士 阿部 尚俊 PLUCK

以下のホームページにて、セミナーの様子がご覧いただけます。

JICA二本松：<http://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2009/091221.html>

福島県国際課：<http://www.pref.fukushima.jp/kokusai/contents/rikai/global/2009/result.html>

バナアツながり

♪ バナアツと郡山市民の楽器を通じた交流 ♪

始まりは、平成21年2月。現在南太平洋にあるバナアツ共和国に青年海外協力隊員として派遣中の石川友美さん（会津若松市出身）から、勤務するマレクラ島ラカトロ小学校の音楽教育改善のために、福島県の皆さんが使用しなくなった楽器をバナアツに届けてもらえないかという呼びかけでした。それに応えたのが、郡山青年会議所（郡山JC）の皆さんです。郡山市の中学校や幼稚園から回収された楽器の数は300個を超えました。JICAの「世界の笑顔のためにプログラム」を通じて、無事ラカトロ小学校に届き、子どもたちの笑顔につながっています。



石川隊員の声：楽器不足のため2～3人で1つの楽器を共有。1人1台の楽器を使い子どもに音楽を体験してもらいたい。最後に皆で合奏を目指しています！



回収したリコーダーと鍵盤ハーモニカをまとめて、郡山JCの皆さんがちゃんと使えるか一個ずつ確認しています。



ラカトロ小学校からお礼状が届きました。郡山JC2009年度理事長の幕田宙晃さん（左）と同年度まちづくり委員長の加瀬元三郎さん（右）。



ありがとう！
Tanktumas!
(ビシュラマ語)



楽器受け取り後、ラカトロ小学校内でセレモニーを行いました。



ラカトロ小学校4年生の楽器受け取り後の様子。

日本と世界をつなぐ架け橋になってみませんか？
「世界の笑顔のために」プログラム

～途上国の人々のために、
日本でできるボランティア～

開発途上国で必要とされている教育、福祉、スポーツ、文化などの関連物品について、ご提供くださる方々を日本国内で募集し、JICAが派遣中の青年海外協力隊をはじめとするボランティアを通じ、世界各地へ届けるプログラムです。

詳しくはJICAホームページにて ⇒ <http://www.jica.go.jp/partner/smile/index.html>